

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズクラブ

2019~2020年度 No.242

3 月報

那須クラブ会長 主題

地域につなげ那須ワイズ



強調月間：BF
メネット

今月の聖句

あなたがに言うことは、すべての人に言うのだ。目を
覚ましていなさい。

マルコ 13 : 37

・ 3月第1例会

日時：3月27日(金) 午後6時30分~8時

場所：日本キリスト教団 西那須野教会

内容：CS公開講演会

田村 修也 副会長

開会点鐘 会長 河野 順子

会長挨拶 会長 河野 順子

ワイズソング斉唱 一同

ワイズの信条の斉唱 一同

聖書朗読・祈禱 司会者

ゲスト・ビジターの紹介

演題：「超高齢化社会を元気に生き抜く！第3弾」

アドバンス・ケア・プランニング

「もしもの時」に備えて話し合しましょう

講師：河野 順子(那須ワイズメンズクラブ会長)

栃木県訪問看護ステーション協議会会長)

YMCA報告

ワイズ報告

YMCAの歌 一同

閉会挨拶・点鐘 会長 河野 順子

食事はありません。

問い合わせ：田村副会長 (090-5545-6763)

**3月例会は、新型コロナウイルスの影響で中止。
4月例会に変更する。**

2019~2020年度 主題

国際会長：(IP) Jennifer Jones (オーストラリア)

「より良い明日のために今日を築く」

アジア太平洋地域会長：(AP) 田中 博之(東京多摩みなみ)

「Action!」

東日本区理事：(RD) 山田 敏明(十勝)

「勇気ある変革、愛ある行動!」

北東部長：鈴木 伊知郎(宇都宮東)

「われら北東部、世界のワイズメンと共に前に進もう」

クラブ役員

会長：河野 順子

副会長：村田 榮・田村 修也

書記：藤生 強

会計：村田 榮・鈴木 保江

担当主事：藤生 強

ブリテン：田村 修也・村田 榮

2月例会データ(出席率：80%)

在籍者 6名(内 功労会員1名) 例会出席者 4名

メネット1名 Yスタッフ1名 ゲスト3名

3月 Happy Birthday

3/13 田村 修也メン

・ 4月第2例会(役員会)

日時：4月3日(金) 午後12時30分から

場所：田村 修也副会長宅

・ アジア学院入学式

日時：4月11日(土) 午後1時~

場所：アジア学院

・ 4月第1例会(CS公開講演会)

日時：4月24日(金) 午後6時30分~

場所：日本キリスト教団西那須野協会

3月巻頭言

田村 修也

「歌を歌う」

今年は庭のフクジュソウが、例年になく早く2月に咲き出した。ほぼ1か月早い。

私は今、3つの高齢者施設と公民館で1か所、利用者の皆さんと定期的に歌を歌っている。なつかしい歌をうたう会である。はじめに童謡と唱歌を歌って喉慣らしをしてから、歌謡曲、演歌、歌曲、フォーク、民謡等々リクエストに応じて何でも歌うのである。

いつもだと、2月末までは冬の歌をはじめに歌っているのであるが、今年は立春から春の歌を歌うことになってしまった。朧月夜から始まって、春が来た、さくらさくら、春よ来い、春の小川、うれしいひな祭り、メダカの学校と続いていく。

歌を歌うことは、健康に良いと言われている。以前どんな良いことがあるのか調べたことがある。新講義社版で大島清という先生が「歌うとなぜ『心と脳』にいいのか？」という本が見つかった。そこには、「音楽の三大要素である『メロディー』『ハーモニー』『リズム』が脳全体を刺激し、快感物質のアドレナリンを放出し、血液の流れを良くし、その結果、心身ともに日常生活の重圧（ストレス）が取れ、軽快な気分になるからだろう。メロディーは、脳に作用する。ハーモニーは、呼吸に作用する。リズムは、手足の運動や血液の循環、物質代謝を左右する」と書かれてあった。

「心に太陽を持て」という詩がある。中学生の頃に読んだ詩だが、実に感慨深い。

心に太陽を持て 嵐が吹こうが、雪が降ろうが
天には雲 地には争いが絶えなかりうが
心に太陽を持て そうすりゃ何が来ようと平気じゃないか
どんな暗い日だって それが明るくしてくれる

唇に歌を持て ほがらかな調子で
日々の苦勞に よし心配が絶えなくても
唇に歌を持て そうすりゃ何が来ようと平気じゃないか
どんな寂しい日だって それが元気にしてくれる

他人のために言葉を持て 悩み、苦しんでいる他人のためにも
そしてなんでこんなに朗らかでいられるのか それをこう話していくのだ
唇に歌を持て 勇気を失うな 心に太陽を持て
そうすりゃ何だって 吹っ飛んでしまう



2月例会（リーダー活動報告会）

書記 藤生 強

日時：2020年2月21日（金）午後6時30分～

場所：日本キリスト教団西那須野教会

参加者：河野、田村、藤生、村田各メン。田村メネット、YMCAスタッフ1名（平山主事）。ゲスト（ユースリーダー1名、西那須野教会潘牧師ご夫妻）

2月例会は「那須YMCAユースボランティアリーダー報告会」を行いました。

リーダー達の多くは帰省中（大学が春休み）のため、ケンイチリーダー（西くん）1名のみの参加となりました。始めにケンイチリーダーが夏に参加した『第32回ユースボランティアリーダーズフォーラム』の報告を行いました。

東京YMCA山中湖センターを会場に9月6日～8日で行われ、とちぎY9名を含むリーダー40名、グループカウンセラー（リーダーOBOGなど）5名そして多くのワイズメンが参加し、有意義な体験・経験を得ることが出来た3日間だったと報告がありました。

スケジュールは、1日目は基調講演やYMCAについての学びなどを行い、2日目はグループタイムやレクリエーション、キャンプファイヤーなど行い、YMCAを知り、そして他Yリーダーからの多くの刺激を受けたそうです。3日目は「今、ボランティアリーダーに求められること」というテーマでグループディスカッションを行い、深い仲間意識を得ることが出来たようです。

リーダーとして活動する中で、いかに自分が多くの仲間にも支えられて過ごして来たかを実感したようでした。ぜひ参加出来なかった多くのリーダーに、その想いが伝わってほしいと願いました。

次に那須YMCA担当スタッフ平山主事より、那須YMCAリーダーが中心となって活動している『Yキッズ』の報告がありました。オールとちぎYにて行う幼児と小学生の入門グループ活動であり、各月の活動内容とテーマはリーダーたちが子どもたちへの願いを込めて考え、そして活動を行っていること報告されました。

2つの報告にリーダー達の活躍と成長を感じ、それらをサポートする私たちワイズメンの役割も大変重要であると感じた例会となりました。

3月第2例会（役員会）報告

日時：3月2日（月）午後12時30分～

場所：田村 修也メン宅

出席者：河野会長、田村副会長、村田副会長、田村メネット

今回は、新型コロナウイルスを配慮し、飲食店での開催でなく、田村メン宅をお借りして開催した。協議事項

1. 2月例会（リーダー活動報告会）の反省

リーダーの参加が1名だけの参加であったが、いい話であったので、他のリーダーにも聞いてほしい。時期を考える必要がある。

2. 3月例会の件

地域奉仕講演会とする。講師は河野順子会長。演題は、「超高齢化社会で元気に生き抜く」とし、3月27日（金）午後6時30分から8時までとする。夕食はなし。場所は日本基督教団西那須野教会。チラシとポスターを作成し多くの方々に呼び掛ける。新型コロナウイルスの影響で延期もある。3月15日まで様子を見る。**新型コロナウイルスの影響で中止**となった。

3. 4月役員会の件

4月3日（月）午後12時30分より田村副会長宅で行う。

4. 植樹例会の件

塩那森林管理署との話し合いで諸行事の関係で4月よりも5月23日（土）に行う。なお、4月例会は、CS公開講演会を予定する。新型コロナウイルスの影響での変更もありうる。

5. その他

・3月7日の「3. 11 揚がれ！希望の凧」は、**新型コロナウイルスの影響で中止**となった。

・聖園那須老人ホームへの奉仕活動の一つとして、タオルを寄付する運動を推進する。皆さんのお宅にあるタオルを例会ごとに持ち寄る。

・シイタケ昆布を4月初めに購入・販売を行う。予定としては、80個。

旧西那須野（那須西原）の緑と水（第84回）

田村修也

「爰ニ灌漑ヲ享ルモノ集合誓約スル左の如シ」と書かれた那須水組申合規約の条文をご紹介します。

第1条 疏水ノ灌漑ヲ受クル土地ノ拝借人及所有者ヲ那須水組ト称ス。

第2条 疏水ノ分配ハ管庁ニ於テ定メラレタル疏水分量表ニ依る。

第3条 前条の水量ニヨリ、支線分水ノ構造ハ、官の測定スル所ニ従へ、何等ノ事故アリト雖自己ニ

変換スベカラズ。

第4条 本幹ヨリ支線ヲ開鑿スルニハ、反別ノ多少ニ係ラズ、一社（又ハ一名）、一カ所ニ限ルモノトス、但シ不得止事実アルトキハ此限りニアラズ。

第5条 本幹ニ接セザル甲ノ地ヨリ、分水スルニ臨ミ、乙ノ地ヲ開通セザルベカラザル場合ニハ、乙地主ハ之ヲ拒ムヲ得ズ。

第6条 非帯ノ減水又ハ水路破損等ニテ、水量減水スルトキハ、反別ノ広狭ニ拠リ其水量ノ引入ヲ減ズベシ。

第7条 水路本幹ノ修繕及ビ保護取締ニ関スル一切ノ経費ハ、水組一般ニ於テ負担スベシ。但費金ノ賦課法ハ其カンガイヲ受クル反別ノ広狭ニ依ルベシ。

第8条 各支線ノ修繕其他一切ノ経費ハ、其支線ニ関する各社ノ負担トシ、其賦課法ハ前条ニ同ジ。

第9条 水路修繕及ビ取締等ニ関スル経費中へ、今般官より金六千円ヲ補助セラル、故ニ水路ノ修繕及取締ニ関スル経費ハ、支出ヲ要スル都度官庁ノ許可ヲ得テ、本金額限り補助金ヨリ支出スルモノトスル。

第10条 補助金ノ出納及其ノ支弁ニ係ル工事ハ、総テ県庁ノ掌理ヲ請フモノトス。

第11条 水路ニ破損ヲ生ジタルトキハ、其情状ヲ詳記シ速カニ管庁ヘ報告スベシ。

第12条 水路本幹ハ水組各社ノ反別ニ応ジ、予メ其受持ヲ定メ置キ、春秋両度水組総代ノ指定シタル日限内ニ、核受持限り掘浚スベシ。

但シ各支線ハ其組限り掘浚スベシ。

第13条 水路ノ保護ニ関スル蛇尾川及ビ熊川兩岸ノ堤防ハ、水組一般ニテ負担スベシ。

第14条 此水路ニ関スル百般ノ事項ヲ協議スル為メ、毎年2月水組ノ総集会ヲ開クベシ。

但シ至急ヲ要スル重大ノ事件アルトキハ、臨時会ヲ開クヲ得。

第15条 毎年水組総会ニ於テ、総代2名ヲ公選シ、管庁ノ認可ヲ受け水路ニ関スル一切ノ事務ヲ委嘱ス。

但シ其権限及諸費支給ノ方法ハ別ニ之ヲ定ム。

第16条 此ノ疏水線路監護取締ノ為メ、水組総代ノ特選ヲ以テ、水路取締人2名、水門番1名ヲ置クモノトス。但シ給料は別に之ヲ定ム。

第17条 水組ニ於テ負担スベキ水路ノ区域ハ、大幹線即チ岩崎疏水口ヨリ西原三島迄トス。

第18条 此誓約ニ違反シタルモノハ、水組総会ノ議決ヲ経テ、百円以内違約金ヲ水路費ノ内ニ出サシム、其情状特ニ重キモノハ、官庁ニ具申シテ配水ヲ禁止シ、又ハ停止スルモノトスル。

第19条 此申合規約同附則中加除訂正ヲ要スルトキハ、水組総会ニ於テ議決ノ上官庁ノ認可ヲ受けタル後実行スベシ。

前書ノ通今般契約致候ニ付テハ、向後相互ニ確守可致、依之喜明調印候也。

明治19年11月 水組一同連署。

明治23年に町村制が施行され、那須開墾社の開拓地は那須野村から西那須野村になっていきます。私は20年前に西那須野ライオンズクラブの依頼で、西那須野の水と緑について講話をしたことがあります。その中で、開拓事業の計画は、2割が農耕地開墾、6割が植林事業、2割が採草地であり、開拓地の森や林はすべて植林されたものであること。また、住民の自治意識は、この那須疏水の維持管理と通して培われて行ったと話しましたが、この水組の申合規則を読んで、改めてそのことが確認されました。この規約に続く10条に及ぶ附則につきましては、次回でご紹介いたします。（次回に続く）

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園
園長・理事長 福本 光男

「いくつもの星があるからこそ
この夜空は光り輝く、1つ1つの星が
暗闇を照らす力になればそれでいい。」

（麻実麗）

「1番を競い合うのではなく…
お互いを認めさえあれば それで
一つ一つの星か？ みんな綺麗だね」

（壇ノ浦百美）

（映画「翔んで埼玉」より）

冒頭の文は、映画「翔んで埼玉」の主人公である麻実麗と壇ノ浦百美の会話です。この映画の基になったコミック「翔んで埼玉（魔夜峰央 作）」は、ご存知の通り2015年頃から爆発的なヒットをし、2019年に実写版映画として公開されました。しかし、「ウィキペディア (Wikipedia)」によると、この作品は初出の1986年(S61)から、30年、余り日の目を見ることがありませんでした。冒頭の台詞もバブル経済が崩壊し VUCA(ブーカ)の時代に入ったからこそ、私たちの心に響いてきます。

さて、幼児教育は、目には見えない部分の基礎を育てる教育です。人の成長を木で例えるならば、幼児教育は根の部分です。平均寿命が100年強といわれる今の子どもたちが、正解のない時代を善く生きる為には、風雪に耐えられるようなしっかりした

根の成長が求められます。

根の成長には、幼児期の遊びがベースになります。見える形での幼児教育の成果は、この作品の様に何十年後かもしれませんし、見えるものではないかも知れません。しかし、冒頭の2人の会話は、30年前という時を感じさせない現在に当てはまる内容です。

聖書には、「あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができない。また、ともし火をともして灯の下に置く者はいない。燭台の上に置く。そうすれば、家の中のものすべてを照らすのである。そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである(マタイ5:14-16)。」とあります。

成長した子どもたちが社会のなかで、「それぞれの持つ光を放つ存在」になって欲しいと願いつつ、日々の保育にあたっています。

※ VUCA: Volatility (変動)、Uncertainty (不確実)、Complexity (複雑)、Ambiguity (曖昧)の頭文字を取った言葉。

アジア学院たより

学校法人 アジア学院
校長 荒川 朋子

新型コロナウイルス報道と原発報道

連日新型コロナウイルス報道が続いている。緊急事態宣言の発動もあり得るという事態だから当然なのかもしれないが、連日の報道を聞きながら9年前の福島第一原発事故に伴う放射能漏れの報道と比較するのは私だけだろうか。

今回の新感染症についての政府の対応と報道のあり方についてはいろいろな意見があるが、私は報道に触れる度にどうしても9年前のあの時のことと比較してしまう。9年前だって人々は目に見えない放射能漏れによって命の危険にさらされていた。2つの事象が同じ3月に起きているということもあり、何が同じで違うのか、考えてみたい。

新型コロナウイルス感染も放射能被害も、多くの人にとって新しい恐怖であるという点では同じである。(似たような感染症や放射能漏れ事故は過去にも事例があり、全く未知というわけではないが。)従って政府にとっても新しい対応と対策を迫られる。どちらも地域や国境を越えて被害は広がるものであるが、新型コロナウイルス感染については、中国、武漢市でのパニック状態が連日映像となって映し出

され、見ている人に恐怖を与えた。感染者と死者の数が明確に分かり、それが地図やグラフなどにいち早く反映されて報道されるのも、さらなる恐怖を抱かせている。日本の対応は遅く、また統制も取れておらず、抜本的な対策も打ち出されないまま感染者の数は増え続けた。そしてその間もずっとこのパニック映像は相変わらず繰り返し映し出され、人々の間に恐怖はますます増殖していった。

一方、9年前の放射能被害は今回のような人に恐怖を抱かせるようなパニック映像はなかった。将来の危険性についての情報は今回同様連日出されたが、その見解はまちまちで、政府の立場は一貫して「生命に危険を及ぼすレベルではない」であった。しかも危険にさらされている人の数、被害は短期間では出ないため、視覚的に被害がわかりにくく、恐怖をいただく人は限定的になっていった。

その違いなのだろうか。今回政府が「子どもの命を守ることが最優先」として3月8日からの公立の小中校学校の一斉休校に踏み切ったのは、多くの人々が抱く恐怖に対して、日本の政府だって効果的な対策を打っているんだとアピールし、面子を守るためか。効果的な方法かもしれないが、「子供の命を守ることが最優先」ならば、9年前だって卒業式や入学式、不急不要の外出を控えるように、最大限の要請を政府はするべきではなかったか。「生命に危険を及ぼすレベルではない」と言ってしまった手前、そうできなかったのか。9年前、政府はもちろん、学校からも自治体からも何の注意も要請もないまま、実家に避難させていた中3と小6の我が子を帰宅させ、卒業式、入学式に大きな恐怖を抱きながら出席していたことを今でも忘れることができない。あの時は、なぜあれほどまでに注意喚起がなかったのか。

政治が人間でやられている以上、完璧であるわけではない。しかし、口では「最優先事項は命」だと言いながら、実際には硬直化した組織や政府の立場を守るために対策が遅れたり、不適切な対策が打たれたり、それをまた取り繕うために次の対策が出されているとしたら、そしてそれに振り回されて生活が困窮したり、命を落とす人がいるとしたら、いったいそれはどんな政治か。絶望的な気持ちになりながら、この状態を福島の人々は今どう受け止めているのか考えている。

YMCAだより

【YMCAピンクシャッター 2月26日(水)】

ピンク色のシャツを着ていじめ反対をアピールする「ピンクシャツデー」が今年も全国のYMCAで行われました。この運動は2007年カナダで、ピンク色のシャツを着た少年がゲイだといじめられ、それを聞いた先輩二人がインターネットで呼びかけピンクシャツや小物を身につけ皆で学校に登校しいじめが自然と無くなったことから始まりました。

社会全体がいじめに対して「自分事として」向き合うこと、そして被害者と加害者以外の立場にいる人が「傍観者にならないこと」が、いじめられている人を救うことになると思います。2月26日は各拠点でピンクに染まりました！



【各プログラム中止のお知らせ】

2019年度スプリングプログラム及びとちぎYMCAの各プログラム（健康・国際・野外）はコロナウィルスの感染拡大防止のため大変残念ですが全て中止となりました。

2020年度の各プログラムにもご参加していただければと思います。

【とちぎYMCA・那須YMCA 3月・4月上旬の予定】

- ・ 3/1（日） Yキッズ@上野動物園 中止
- ・ 3/2（月）～4（水） 北関東YMCAスキーリーダートレーニング 中止
- ・ 3/7（土） サタデークラブ@西那須野幼稚園（凧揚げ） 中止
希望の凧揚げ@那須会場 中止
- ・ 3/8（日） 希望の凧揚げ@宇都宮会場 中止
- ・ 3/16（月） 西那須野幼稚園卒園式
- ・ 4/1（水） 就業礼拝@宇都宮YMCA
- ・ 4/1（水）～3（金） 新入職員研修@宇都宮YMCA・トライ東
- ・ 4/4（土） とちぎYMCA職員歓送迎会@宇都宮YMCA

今月は休みとします。

あしがき

・ 計画していたすべてのプログラムが新型コロナウイルスの影響で中止となった。4月以降のプログラムは、新型コロナウイルスがどのように推移するのか見極めることが大切である。一日も早い終息を願います。

・ 那須ワイズの地域奉仕活動に一つ新しい活動が加わりました。アジア学院は、収穫感謝祭に協力。エルム福祉会は、アルミ缶の収集活動。聖園那須老人ホームは、田村副会長を中心とした歌の集いに加えて、タオルを贈る運動を展開します。皆様のご協力をお願いします。

ユースリーダーのつぶやき

1. 名前（リーダー名）
2. 学校名
3. 出身地
4. YMCAに入ったきっかけは？
5. 思い出に残った活動とその理由は？
6. 今後の進路は？
7. YMCAに一言